

## 調査研修報告書（議員用）

報告者：松森 潤平

実施場所：リファレンス駅東ビル	実施日：令和8年2月7日
<b>■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など）</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・議員活動の質の向上：市民のニーズを的確に把握し、政策提言へと繋げるための基礎力を学ぶ。</li><li>・議員の基礎力の充実：地方自治法や予算書の読み解き、一般質問など議員が備えるべき基本的スキルを学ぶ</li></ul>	
<b>■参考とすべき事項</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・地方自治法において、必置機関としての重みや議事機関としての役割</li><li>・与党の役割の明確化：市長の政策を支え、予算や重要議案を可決へと導くこと実質的な政策決定に関与する力が強いなど。</li><li>・野党の役割の明確化：市民の目として権力を監視する重要な役割、議会での質問を通じて、問題点を公の場にあげ、議論を巻き起こすなど。</li><li>・一般質問の極意：徹底的な事前調査、論理構成、明確な答弁に迫るなど、数字や根拠を大切にし、感情的な質問ではなくロジックに基づいた内容であること。</li><li>・令和の議会は「政策」と「発信」：専門性を重要視し、政策立案と条例提案を行い、透明性のある情報発信（SNSやレポート）を心掛けるなど。</li><li>・議員定数減少時代に生き残る議会へ：人口減少に伴い、定数削減の圧力は避けられず、議員の質の担保や多様性の確保、デジタル（DX化）など推進していくべきである。</li><li>・予算書、決算書の読み方：一般会計と特別会計の構成、歳出構成、基金残高、人件費比率、歳入構成、経常収支比率、債務残高と償還計画、また決算カードをもとに読み取っていく。</li><li>・市民に届く議員活動：議会報告会、ニュースレター、SNS活用、地域イベント、相談窓口の充実など信頼構築にむけた活動を行うこと</li><li>・議員の情報収集術：ネット情報の活用（地域医療情報システム、リーサス）、現場調査の重要性、市役所からの情報をもとに情報収集に努めること。</li></ul>	
<b>■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・人口減少・定数減少時代において、効率的な行政運営は避けて通れない。行政手続きのDX化はもちろん、議会報告会やパブリックコメントのデジタル化をさらに進めるなど、仕組み構築を加速させるべきである。</li><li>・ネット情報や統計データの活用と同時に、現場調査の重要性を学んだ。現場の課題や市民の切実な声を迅速に議会と共有できる体制を整え、共に地域課題の解決にあたる「パートナー」としての情報共有を期待する</li><li>・本研修で得た「武器」を、次回の一般質問や予算審議に反映させる。具体的には、自身の専門領域を定め、徹底的な事前調査に基づいた、数字に強い議員活動を展開する。また、ニュースレターやSNSを駆使し、市民に対し議会の動きを透明性高く報告し続け信頼回復に努める。</li></ul>	